



作成日 2020/10/29

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	U-レジストCG1 硬化剤
製品コード	CE-F01-1196
供給者の会社名称	宇部興産建材株式会社
住所	東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館
電話番号	03-5419-6206
FAX番号	03-5419-6265

2. 危険有害性の要約
化学品のGHS分類

健康有害性	急性毒性(経口) 区分4 急性毒性(経皮) 区分4 皮膚腐食性/刺激性 区分1 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1 皮膚感作性 区分1 生殖細胞変異原性 区分1B 生殖毒性 区分1B 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分1(呼吸器 呼吸器系 心血管系 神経系 腎臓 肺) 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2(全身毒性) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(肝臓 胸腺 血液系 消化管 心血管系 腎臓 中枢神経系 脾臓)
環境有害性	水生環境有害性 長期(慢性) 区分2 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しない(分類対象外)か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示

注意喚起語
危険有害性情報

危険
H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
H373 長期にわたる、又は反復ばく露による肝臓、胸腺、血液系、消化管、心血管系、腎臓、中枢神経系、脾臓の障害のおそれ
H302+H312 飲み込んだ場合や皮膚に接触した場合は有害
H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H340 遺伝性疾患のおそれ
H370 呼吸器、呼吸器系、心血管系、神経系、腎臓、肺の障害
H371 全身毒性の障害のおそれ
H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き
予防策

粉塵/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260)
環境への放出を避けること。(P273)
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)

対応 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)

廃棄 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。(P308+P311)

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
変性脂肪族ポリアミン	非開示	非開示	—	—	非開示
フェノール	1~5%	C6H6O	(3)-481	公表	108-95-2
メターキシリレンジアミン	1~8%	C8H12N2	(3)-308,(3)-2888	公表	1477-55-0
4-tert-ブチルフェノール	1~10%	C10H14O	(3)-503	公表	98-54-4

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ、皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
医師の診断、手当てを受けること。
口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

5. 火災時の措置

適切な消火剤
使ってはならない消火剤
特有の危険有害性
特有の消火方法
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂
情報なし
消火水や希釈水が汚染を引き起こす恐れがある。
関係以外は安全な場所に退去させる。
火災発生場所の周辺に、関係者以外立ち入り禁止とすること。
風上から消火する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
区域より退避させること。

環境に対する注意事項

下水、排水中に流してはならない。
河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

少量の場合、乾燥砂、土、おが屑、ウエス等に吸収させ、空容器に移す。

二次災害の防止策
 大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。
 漏洩物を回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 粉塵/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。 熱源/花火/炎/加熱面から遠ざける。禁煙。 取扱いは換気良好な環境のもとで、直接皮膚や目に触れないように保護手袋、保護眼鏡等を着用して取り扱う。
	安全取扱注意事項	換気の良い場所で取り扱うこと。 この製品を使用するときに飲食又は喫煙をしないこと。取扱い後は手洗い、洗顔等を十分に行う。 混触危険物質と接触させてはならない。 取扱い後はよく手を洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合は洗濯する。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
	接触回避 衛生対策	容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。 火気や熱源などの着火源から遠ざける。 国又は都道府県の規則に従って保管すること。 情報なし
保管	安全な保管条件	
	安全な容器包装材	

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
フェノール	未設定	5ppm(19mg/m ³)(皮)	TWA 5ppm (Skin)
メタキシリレンジアミン	未設定	未設定	STEL C 0.1mg/m ³ (Skin)

設備対策		適切な換気のある場所で取り扱う。 手洗い/洗眼設備を設ける。
保護具	呼吸用保護具 手の保護具 眼、顔面の保護具 皮膚及び身体の保護具	呼吸器保護具を着用すること。 保温用手袋を着用すること。 保護眼鏡、顔面保護具を着用する。 適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
形状	液体
色	淡黄色
臭い	アミン臭
融点/凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点 範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限 界/可燃限界	データなし
引火点	100℃ (セタ密閉式)
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし

溶解度	水に不溶
n-オクタノール／水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	1.0g/cm ³
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他のデータ	粘度: 200mPa・s

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	通常の保管条件下、取り扱い条件下において安定である。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	酸、塩基、酸化性物質、権限性物質
危険有害な分解生成物	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	
経口	区分4〔成分情報から〕 以下の物質を含む 〔日本公表根拠データ〕 (フェノール)rat LD50=375mg/kg (計算値) (m-キシリレンジアミン)rat LD50=660mg/kg (ACGIH, 2001)
経皮	区分4〔成分情報から〕 以下の物質を含む 〔日本公表根拠データ〕 (フェノール)rat LD50=670mg/kg (EHC 161, 1994) (m-キシリレンジアミン)rabbit LD50=2000mg/kg (ACGIH 7th, 2001)
吸入	気体: 区分に該当しない(分類対象外) 蒸気: 分類できない 粉じん、ミスト: 分類できない 以下の物質を含む 〔日本公表根拠データ〕 (m-キシリレンジアミン)mist: female rat LC50=0.8mg/L/4hr (Directive 84/449/EEC, B.2.; GLP) (SIDS, Access on Apr. 2012)
皮膚腐食性／刺激性	区分1〔成分情報から〕 以下の物質を含む 〔日本公表根拠データ〕 (4-tert-ブチルフェノール)ラビット 重度の刺激性 (EU-RAR, 2008) (フェノール)ラビット/ヒト 腐食性 (EHC 161, 1994) (m-キシリレンジアミン)ラット/マウス 腐食性 (SIDS, Access on Apr. 2012)
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分1〔成分情報から〕 以下の物質を含む 〔日本公表根拠データ〕 (4-tert-ブチルフェノール)ラビット 重度の刺激性 (EU-RAR, 2008) (フェノール)ラビット 非可逆的作用 (EHC 161, 1994) (m-キシリレンジアミン)腐食性物質 (UN RTDG)
呼吸器感受性	分類できない
皮膚感受性	区分1〔成分情報から〕 以下の物質を含む 〔日本公表根拠データ〕 (m-キシリレンジアミン)cat. 1; guinea pig : SIDS, 2012
生殖細胞変異原性	区分1B〔成分情報から〕 以下の物質を含む 〔日本公表根拠データ〕 (フェノール)cat. 1B; CERI/NITE有害性評価書 No.32, 2005

発がん性	分類できない 以下の物質を含む (フェノール)IARC-Gr.3 : ヒトに対する発がん性については分類できない (フェノール)ACGIH-A4(1992) : ヒト発がん性因子として分類できない
生殖毒性	区分1B〔成分情報から〕 以下の物質を含む 〔日本公表根拠データ〕 (4-tert-ブチルフェノール)cat. 2; 環境省リスク評価第13巻, 2015 (フェノール)cat. 1B; CERI/NITE有害性評価書 No.32, 2005
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1〔成分情報から〕 区分2〔成分情報から〕 以下の物質を含む 〔区分1〕 〔日本公表根拠データ〕 (フェノール)呼吸器、心血管系、腎臓、神経系 (CERI/NITE有害性評価書 No.32, 2005) (m-キシリレンジアミン)肺 (SIDS, Access on Apr. 2012) 〔会社固有データ〕 (m-キシリレンジアミン)呼吸器/呼吸器系 〔区分2〕 〔日本公表根拠データ〕 (m-キシリレンジアミン)全身毒性 (SIDS, Access on Apr. 2012; ACGIH, 2001) 〔区分3(気道刺激性)〕 〔日本公表根拠データ〕 (4-tert-ブチルフェノール)気道刺激性 (環境省リスク評価第13巻, 2015)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2〔成分情報から〕 以下の物質を含む 〔区分1〕 〔日本公表根拠データ〕 (フェノール) 心血管系、肝臓、消化管、血液系、腎臓、脾臓、胸腺、中枢神経系 (CERI/NITE有害性評価書 No.32, 2005)
誤えん有害性	分類できない

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)	分類できない 以下の物質を含む 〔日本公表根拠データ〕 (フェノール)甲殻類(ネコゼミジンコ属の一種) LC50=7.83mg/L/48hr (4つ以上報告の幾何平均値) (m-キシリレンジアミン)甲殻類(オオミジンコ) EC50=15mg/L/48hr (環境省生態影響試験, 2009) (4-tert-ブチルフェノール)甲殻類(ベイシユリンプ) LC50/EC50=1.9mg/L/96hr (EU-RAR, 2008)
水生環境有害性 長期(慢性)	区分2〔成分情報から〕 〔日本公表根拠データ〕 (フェノール)魚類(ファットヘッドミノー) NOEC=0.75mg/L/30days (NITE初期リスク評価書, 2007) (4-tert-ブチルフェノール)藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) NOEC (r)=0.32mg/L/72hr (環境省リスク初期評価第13巻, 2015)
生態毒性 残留性・分解性	データなし (フェノール)急速分解性あり (2週間でのBODによる分解度: 85%; TOCによる分解度: 95% (既存点検, 1979)) (m-キシリレンジアミン)BODによる分解度: 22%/4weeks (既存点検, 1984) (4-tert-ブチルフェノール)急速分解性なし (BOD分解度=0%/14 days; TOC分解度=1.2%/14 days (通産省公報, 1977))

生体蓄積性	(フェノール)log Pow=1.46 (ICSC, 2001) (m-キシリレンジアミン)log Pow=0.18 (ICSC, 2002); BCF < 2.7 (Check & Review, Japan) (4-tert-ブチルフェノール)log Pow=2.4 through 3.4 (ICSC, 2000)
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	分類できない
その他のデータ	水溶解度 (フェノール)溶ける (ICSC, 2001) (m-キシリレンジアミン)よく溶ける (ICSC, 2002) (4-tert-ブチルフェノール)溶けない (ICSC, 2000)

13. 廃棄上の注意 残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
下水、河川等へ流入することがないように厳重に注意する。
残余廃棄物と同様に産業廃棄物として処理する。

汚染容器及び包装

14. 輸送上の注意 国際規制

海上規制情報	IMOの規定に従う。
UN No.	3267
Proper Shipping Class	CORROSIVE LIQUID, BASIC, ORGANIC, N.O.S. 8
Packing Group	III
Marine Pollutant	Not applicable
Liquid Substance	Not applicable
Transported in Bulk	
According to	
MARPOL 73/78, Annex II, the IBC Code	

航空規制情報	ICAO/IATAの規定に従う。
UN No.	3267
Proper Shipping Class	CORROSIVE LIQUID, BASIC, ORGANIC, N.O.S. 8
Packing Group	III
陸上規制	該当しない
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
国連番号	3267
品名	その他の腐食性物質(有機物)(液体)(アルカリ性のもの)

国内規制

国連分類	8
容器等級	III
海洋汚染物質	非該当
MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質	非該当
航空規制情報	航空法の規定に従う。
国連番号	3267
品名	その他の腐食性物質(有機物)(液体)(アルカリ性のもの)
国連分類	8
等級	III

特別の安全対策

転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
直射日光、雨水に当たらないように注意する。
その他、『7. 取扱い及び保管上の注意』の項の記載による。

緊急時応急措置指針番 153

15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9) ・フェノール(法令指定番号:474) ・メタキシルレンジアミン(法令指定番号:555) 腐食性液体(労働安全衛生規則第326条)
毒物及び劇物取締法	非該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1) ・フェノール(法令指定番号:349) ・4-ターシャリーブチルフェノール(法令指定番号:368)
化審法	優先評価化学物質(法第2条第5項)
水質汚濁防止法	生活環境汚染項目(法第2条、施行令第3条、排水基準を定める省令第1条別表第2)
消防法	第4類 第三石油類(非水溶性)
大気汚染防止法	特定物質(法第17条第1項、政令第10条) 有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質(中央環境審議会第9次答申) 揮発性有機化合物(法第2条第4項)(環境省から都道府県への通達) 揮発性有機化合物 法第2条第4項(平成14年度VOC排出に関する調査報告)
海洋汚染防止法	有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1) 有害液体物質(Y類同等の物質)(環境省告示第148号第2号)
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項
船舶安全法	腐食性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)
航空法	腐食性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)
港則法	その他の危険物・腐食性物質(法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表)
特定有害廃棄物輸出入規制法(バーゼル法)	特定有害廃棄物(法第2条第1項第1号イ、平成30年6月18日省令第12号)
水道法	有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101号)
下水道法	水質基準物質(法第12条の2第2項、施行令第9条の4)
労働基準法	疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1) 感作性を有するもの(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号、平8労基局長通達、基発第182号)

16. その他の情報

参考文献	情報なし
記載内容の取扱い	記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、注意事項は通常取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。